

第65回東海高等学校総合体育大会 空手道競技大会要項

- 1 主催 東海高等学校体育連盟 愛知県教育委員会 東海地区空手道協議会
- 2 主管 愛知県高等学校体育連盟空手道専門部 愛知県空手道連盟
- 3 協賛 菅公学生服株式会社
- 4 期日 平成30年6月16日(土), 17日(日)
- 5 会場 清須市勤労福祉会館 (ARCO 清洲) 清須市清須 2537 TEL : 052-409-8181
- 6 種目 ① 男子団体組手 ② 男子個人組手 ③ 男子個人形
④ 女子団体組手 ⑤ 女子個人組手 ⑥ 女子個人形

- 7 日程 1日目
- | | | |
|-------------|------------|---------------|
| 9:00~10:30 | 会場準備 | |
| 10:30~12:00 | 東海地区役員会 ① | |
| 10:30~ | 開館・受付・公式練習 | |
| 12:00~12:30 | 引率・監督・審判会議 | |
| 13:00~13:20 | 開会式 | |
| 13:20~13:30 | 試技 | |
| 13:30~14:00 | 女子個人形予選 | (Tatami 1, 2) |
| 14:00~14:30 | 男子個人形予選 | (Tatami 1, 2) |
| 14:30~15:05 | 女子個人組手1回戦 | (Tatami 1, 2) |
| 15:05~15:40 | 男子個人組手1回戦 | (Tatami 1, 2) |
| 15:40~16:00 | 女子個人組手2回戦 | (Tatami 1, 2) |
| 16:00~16:20 | 男子個人組手2回戦 | (Tatami 1, 2) |
| 16:20~16:30 | 女子個人組手3回戦 | (Tatami 1, 2) |
| 16:30~16:40 | 男子個人組手3回戦 | (Tatami 1, 2) |
| 16:40~16:45 | 女子個人組手準決勝 | (Tatami 1, 2) |
| 16:45~16:50 | 男子個人組手準決勝 | (Tatami 1, 2) |
| 16:50~16:55 | 女子個人組手決勝 | (Tatami 1) |
| 16:55~17:00 | 男子個人組手決勝 | (Tatami 1) |
| 17:00~17:30 | 東海地区役員会 ② | |

- 2日目
- | | | |
|-------------|------------------|---------------|
| 9:00~ | 開館 | |
| 9:10~ 9:20 | 審判員打合せ会議 | |
| 9:30~ 9:35 | 開始式 | |
| 9:40~ 9:50 | 女子個人形決勝トーナメント1回戦 | (Tatami 1, 2) |
| 9:50~10:00 | 男子個人形決勝トーナメント1回戦 | (Tatami 1, 2) |
| 10:00~10:05 | 女子個人形準決勝 | (Tatami 1, 2) |
| 10:05~10:10 | 男子個人形準決勝 | (Tatami 1, 2) |
| 10:10~10:15 | 女子個人形決勝 | (Tatami 1) |
| 10:15~10:20 | 男子個人形決勝 | (Tatami 1) |
| 10:20~11:10 | 女子団体組手1回戦 | (Tatami 1, 2) |
| 11:10~12:00 | 男子団体組手1回戦 | (Tatami 1, 2) |
| 12:00~12:40 | 昼食 | |
| 12:40~13:05 | 女子団体組手準決勝 | (Tatami 1, 2) |
| 13:05~13:30 | 男子団体組手準決勝 | (Tatami 1, 2) |
| 13:30~13:55 | 女子団体組手決勝 | (Tatami 1) |
| 13:55~14:20 | 男子団体組手決勝 | (Tatami 1) |
| 14:30~15:00 | 閉会式 | |

- 8 試合規則 組手試合は(公財)全日本空手道連盟制定の競技規定・審判規定に準じて行い組手・形試合の運用については全国高体連空手道部競技規定並びに申し合わせ事項による。個人形予選は得点制とし、全空連第1指定形とする。個人形試合決勝トーナメントはフラッグ方式とし、1回戦は第2指定形、準決勝および決勝は得意形とする。得意形は同じ形をくり返し使ってもよいが、決勝トーナメント1回戦までに使用した形は使用できない。
- 9 審判員 全国高体連空手道部公認審判員および大会主催者が要請した審判員とする。
- 10 試合方法 ① 組手試合はトーナメント制で行う。
② 個人形試合の予選は得点制で行い、予選を通過した8名により決勝トーナメント(フラッグ方式)で行う。
- 11 参加資格 ① 4月2日を起算して、18才未満の者で、全国高体連空手道部および全日本空手道連盟に加盟していること。全日課課程と定時課課程の混成チームは認めない。
② 参加申込書に校長印のないものは認めない。
③ 顧問の引率がない学校の出場は認めない。
④ 医師による健康診断を受けること。
- 12 表彰 各種目とも3位までとし表彰状を授与する。団体戦優勝校には持ち回りの優勝杯を授与する。
- 13 出場制限 ① 各種目の出場チーム数、選手数は次の通りとする。
男子団体組手 各県2チーム
男子個人組手 各県8名 男子個人形 各県4名
女子団体組手 各県2チーム
女子個人組手 各県8名 女子個人形 各県4名
② 代表の選抜方法は各県に一任する。
③ 個人種目に登録された選手の変更は認めない。
④ 形試合において登録された形名の変更は認めない。
- 14 参加費 1人1,600円「第65回東海高等学校総合体育大会P2」参照
- 15 申込方法 ①別冊「第65回東海高等学校総合体育大会P2」参照
愛知県高等学校体育連盟 事務局
〒460-0007 名古屋市中区新栄一丁目49-10 愛知県教育会館3階
②各出場校は、『愛知県高体連のホームページ』から「参加申込書」をダウンロードし、各種目の申込ファイルをデータにて下記 E-mail 佐藤真啓宛(豊川高校)、送信してください。
s-masa7@gd6. so-net. ne. jp
③傷害保険は、下記へ現金書留にて申込書同封のもと、送付して下さい。
〒442-0029 豊川市末広通1-37 豊川高校内 佐藤真啓宛
④各県委員長は、「県別参加一覧」を E-mail で上記 愛知県委員長 佐藤真啓宛、送信してください。
- 16 宿 舎 別途宿泊案内による。(株)東武トップツアーズより参加校に案内があります。
- 17 事故処理 出場選手が競技中に負傷した場合、主催者が応急の処置はするが、その後の責任は負わない。
※傷害保険 一人500円 <15 申込方法③参照>
保険取扱店 末広ライフパートナーズ株式会社 豊川市末広通2-61 Tel 0533-84-6204
担当: 近藤 潤 (携帯 090-5615-0033)
大会中の事故、ケガに対する一定の対応として、傷害保険に入ってください。
また、事前に各学校・個人においても、その他のスポーツ傷害保険に加入しておいて下さい。
- 18 その他 選手には健康保険カード・保健証のコピーを持たせて下さい。
公共交通機関を利用し、保護者、応援者についても、自家用車での来場を控えて下さい。
・名鉄電車 名古屋本線「新清洲駅」徒歩15分 ・JR東海 東海道本線「清洲駅」徒歩25分

大会申し合わせ事項

全国高体連空手道専門部

I 選手の服装と頭髪等

[1] 空手道衣

- 1 空手道衣は白無地一色とし、落書きやふちどりのあるものは禁止する。また、帯の色は白・茶・黒いずれかとする。
- 2 空手道衣の左胸に入れる校名は、次の基準による。
 - ① 一文字の大きさ $5\text{cm} \times 5\text{cm} \sim 7\text{cm} \times 7\text{cm}$ とする。(縦書で全体の大きさ $7\text{cm} \times 15\text{cm}$ 程度)
 - ② 字体は丸ゴシック・行書・楷書の範囲とする。
 - ③ 文字の色は黒又は紺とする。但し、スクールカラーはよい。
 - ④ 「～高」は必ずしも入れなくてよい。
- 3 空手道衣の左袖上腕部に入れる都道府県名は、次の基準による。
 - ① 一文字の大きさ $5\text{cm} \times 5\text{cm} \sim 7\text{cm} \times 7\text{cm}$ とする。
 - ② 都・府・県の文字は入れなくてよい。
 - ③ 字体・文字の色については、上記2)の②③に準ずる。
- 4 ウエストを帯で締めたときの上着の長さは、腰を覆うほどの長さとし、ももの中ほどまでのものとする。
- 5 上着の袖の長さは最長、手首までとし、肘から手首の間の中ほどより短くてはならない。上着の袖をまくり上げてはならない。
- 6 上着の袖の空きは袖全長にわたって、袖と腕との間(袖を片側に寄せた状態)が 8cm から 20cm でなければならない。
- 7 ズボンの長さは、少なくとも下肢の $\frac{3}{2}$ を覆うほどの長さとし、踝がかくれてはならない。裾をまくり上げてはならない。
- 8 ズボンの空きは、ズボン全長にわたって、ズボンと脚との間(シンガードを付けずに、ズボンを片側に寄せた状態)が 8cm から 20cm でなければならない。

※ 上記の4)～8)は、いずれも「気をつけ」の状態で判断する。
- 9 競技者は手足の爪を短くし、相手に傷を与えるような金属または他のものを身につけてはならない。
- 10 競技者が不適當な服装で競技場に現れた場合、1分の間に服装を正さなければならない。

[2] 選手の頭髪等

- 1 男子はスポーツマンらしい頭髪にし、長くても「まゆげ」にかからず、「耳」が見え、「エアアシ」が見えるように整髪する。
- 2 パーマ、リーゼント、ソリ、ヒゲ、染色、脱色を禁止する。
- 3 女子は、ヘアピン等の危険物の使用及びリボン・鉢巻きの使用を禁止する。空手道衣の下は白無地のTシャツとする。(但し、ワンポイント校名もしくはワンポイントのロゴ入りは認める)

II 組手競技では男子5点・女子4点の安全具を必ず着用すること。

- 1 ニューメンフォーVI・VII(全空連指定のもの)
- 2 拳サポーター赤・青(全空連指定のもの)
- 3 ボディプロテクター(全空連指定または高体連指定のもの)
- 4 シンガード・インステップガード(高体連検定のもの)
- 5 セーフティカップ(男子のみ)・・・空手道衣の下に着用すること。
- 6 団体組手は、召集場より出場選手全員が安全具を着装していること。

※ 違反者の参加は出場停止。(1分間ルール適用)

※ マウスピースを使用(任意)してもよい。ただし、色は白色か透明なものとする。

III 組手競技・形競技ともにメガネ、コンタクトレンズ(ハード)の使用は禁止とする。但しコンタクトレンズ(ソフト)の使用は、個人の責任において認める。

IV 負傷及び再発防止のための包帯、サポーター・テーピングの使用を許可する。但し、次の条件を満たすものであること。

- 1 攻撃および防御強化のために使用してはならない。
- 2 相手に危害を及ぼすようなものを中に入れてはならない。
- 3 装着不備により、競技をしばしば中断させないこと。
- 4 サポーター及びテープの色は、白及び肌色の2色のみとし、同一箇所への兼用は禁止する。
- 5 清潔な物であること。

[注] あくまでも選手の安全と再発予防のため、軽度の疾病者を対象としたものであり、常識を逸脱するような内容の者及び重傷の出場者を許可するものではない。

※上記に違反した者は当該競技のみ失格とする。

V 組手競技

- 1 申し合わせ事項Ⅱ.において指定された安全具を必ず着用すること。
- 2 組手競技の勝敗は、8ポイント差が生じた場合、又は時間終了の際に得点の多い競技者、又は先取・判定により、又は相手に反則、失格、棄権が課せられることにより決められる。
- 3 団体競技において、登録されたメンバーの枠の中で、各回戦毎のオーダーの変更はできる。但し、試合毎にオーダー票を提出すること。提出後の変更は認めない。
- 4 団体競技は、1回戦は全員試合を行うが、2回戦以降は勝敗が決まった段階で試合を終了する。
- 5 団体競技は、規定の過半数の選手（現行は3人）で成立する。但し、オーダーは先鋒から詰めて、欠員は後尾からとする
- 6 一度棄権（団体戦）した選手及び失格となった選手は、以降の組手競技には出場できない。
- 7 組手競技に於ける危険回避（事故防止）のための遵守事項。
 - ① メンホーは皮膚の一部であり、メンホーの開口部に手を入れたり、掴んだり、押したり、それに関連する動作は全て禁止でペナルティが課せられる。
 - ② メンホーの装着は仕様に従い、しっかり装着すること。
- 8 倒れたり、投げられたり、又ノックダウンされ10秒以内に立ち上がることができなかった競技者は、その大会期間中全ての組手競技への出場はできない。（10カウントルール）
- 9 倒した、あるいは倒れた相手に対する蹴り技は認められるが、必要以上の加撃がないように充分注意すること。
- 10 ジュニアアカデットルールで実施する。
- 11 禁止事項の確認
 - ① 喉への接触技。
 - ② 攻撃部位に対する接触技。技は全てコントロールされたものでなければならない。
 - ③ 腕、または脚部への攻撃。股間部・関節または足の甲及び脚の上部への攻撃。
 - ④ 頭部、膝、肘での攻撃。貫手または開手による顔面への攻撃。（手刀、背刀は除く）
 - ⑤ 相手が完全に着地できない、または負傷の原因となる危険な投げ技。
 - ⑥ 負傷を装うこと、または誇張すること。
 - ⑦ 場外の繰り返し、または時間の浪費が多すぎる動き。
 - ⑧ 自ら負傷を受けやすい様な行動をとること。
 - ⑨ 相手に得点を取られない様、攻撃をせずに逃げること。
 - ⑩ 相手の安全を損なう技、または危険でコントロールされていない攻撃。
 - ⑪ 主審の命令に従わなかったとき。審判団への不作法な態度。相手に話しかける、または相手を刺激すること。

VI 形競技

- 1 予選は得点方式、決勝トーナメントは（フラッグ制）とする。
- 2 予選は第一指定形（下記）から選ぶ。

①セイハイ	②サイファ	③ジオン	④カンクウダイ
⑤セイエンチン	⑥バツサイダイ	⑦セイシャン	⑧チントウ
- 3 決勝トーナメント1回戦は、第二指定形（下記）から選ぶ。

- ①セイサン ②クルルンファ ③エンピ ④カンクウショウ
⑤マツムラローハイ ⑥ニーパイポ ⑦クーシャンク ⑧ニーセーシー

- 4 準決勝・決勝は、決勝トーナメント1回戦までに演じた形以外の得意形とし、同一形でも異なる形でも良い
- 5 失格は、当該競技種目とする。

VII 引率は、当該校教員があたり、選手のすべての行動に対して責任を持つこと。

VIII 監督

- 1 監督は（公財）全日本空手道連盟会員登録者であること。
- 2 監督は審判員を兼ねることはできない。（全国選抜大会はパンフレット記載のみ認める。）
- 3 監督はあらかじめ届け出された者とし（学校長が認めた者）、原則1名とするが、競技日程の関係で男女あるいは選手が重複して出場し、同時進行になった場合に限り、運用として当該校の校長が認めた顧問・コーチが、その競技のみの臨時の監督を務めることができる。但し、事前に競技委員長に申し出る義務を有する。
- 4 監督は競技者と同じ服装（都道府県名・校名を入れる）をし、右上腕部に「監督」の腕章をつける。（腕章は各校で準備する）

IX 健康管理

- 1 競技中の疾病・傷害等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。
- 2 故障者については、監督の責任で出場を取り止めること。
- 3 参加選手・役員は、健康保険証を持参すること。

X その他の注意事項

- 1 競技中に競技者からタイムの要求はできない。全て主審または副審のアピールによる。
- 2 競技者が定位置に戻るときは速やかに戻る。だらしない態度や行動はしないこと。
- 3 競技者が定位置に立ったときは、完全に静止し主審の合図を待つこと。
- 4 競技者がポイントを取ったとき、または勝ったときのオーバーアクションやガッツポーズを禁止する。（監督や待機選手も同じとする）
- 5 競技者が道衣の上に衣類を着用する場合はだらしない着方をせず、競技開始時や終了時には脱ぐこと。
- 6 競技者は試合コート内で円陣を作り、氣勢を上げる等の示威行為を禁止する。
- 7 競技者は、定位置のみならず試合コートへの出入り時にも「礼」をすること。形競技者のコートへの出入り時の「礼」は行わない。形の礼法は定位置での演武前、演武後、判定後のお互いと正面の4回とする。

XI 審判員心得及び確認事項

- 1 公平・無私・正確を旨とすること。
- 2 主審は競技中の主導権を持ち、スムーズな進行に心がける。
- 3 監督及び選手のマナーの指導も行う。（会場内の過度な応援に対する指導も含む。）